

# 穂 学

平成29年度

広州日本人学校学校便り

[No. 9]

平成29年11月16日(木)

発行責任者 教頭 渡邊美佐子

みんなが輝いた学習発表会

校長 丸本 亙

11月に入り、半袖から急に長袖が必要な気温になりましたが、保護者の皆様は風邪などひかれていませんか。

さて、10月28日の土曜日に、広州日本人学校の2大イベントの一つである学習発表会が行われました。日本人学校の理事の方々やオイスカ幼稚園の先生、東風東路小学の校長先生はじめ多くの先生方も、来賓として参観してくださいました。

保護者の方々も入れ替わりで大変多くの方々が参観してくださいさり、子どもたちのステージ発表も前日の児童生徒発表以上の盛り上がりとなりました。

1年生の「ぼくらはうちゅうのたんけんたい」は、鉄筋や小太鼓やトライアングルなどの楽器と鍵盤ハーモニカで上手に演奏したり、歌ったり踊ったり一人ひとりが大変一生懸命に取り組んでいてとてもかわいらしかったです。

3年生の「ライオンキング～家族への思い」は、普段の学習を劇の中に織り込み、マットや跳び箱などもふんだんに使って、ズルー語も取り入れながら演じていたのには大変上手で感心しました。

4年生の「The Monkey and Crabs ～あるサルとカニの物語」はとても楽しく、思わず声を出して笑ってしまう内容でした。何とか見ている人を笑わそうと多くのアドリブも加えて子どもたちが自分たちで工夫して創りあげた劇には、あまりにも上手なので、ぐいぐいと引き込まれていきました。

2年生の「スイミー～小さなかしこい魚のはなし～」は、一人ひとりが図工の時間に作った魚の絵を頭に付けたり、音楽の時間に習った歌を一生懸命歌ったりする中で、一人ひとりが順番にはっきりと大きな声で台詞を言っているのが大変上手で驚きました。

5年生の「魔界とぼくらの愛戦争」は、環境問題を取り上げ、子どもたちの誠実な前向きな心で地球を救うという素晴らしい内容でと共に、一人ひとりがしっかり役になりきって大変上手に演じていたのがとても印象的でした。

6年生の器楽合奏「半妖犬夜叉」は、さすが小学部最高学年と思わせる素晴らしいリコーダー奏、合唱、演奏でした。大変落ち着いたステージで、太鼓や鉄筋などを交えた音の重なりや響きには完成されたものを感じその素晴らしさに驚かされました。

中学部の「Love & Peace ～小さな思いやりをつなげ、大きな絆に～」は、日に日に力強さを増し、大変綺麗な歌声で、やはり中学部の生徒は力があるなどと思わせる合唱でした。素晴らしい歌声に感動しました。

音楽部の発表「奏～Enjoi Music Party～」は、小学部の音楽クラブとのコラボという形での発表となりましたが、短い練習の中で、一生懸命練習してきたんだなと感じさせる演奏でした。小学部と中学部が力を合わせて取り組んでいる姿に日本人学校ならではの素晴らしさを感じました。

どの学年もこの発表に向けてしっかり計画を立て、多くの時間をかけずに上手にまとめていたことに感心すると共にとても嬉しく思いました。舞台の上で主役を演じる子もいれば、それを支えて演じる子もいます。また、舞台の背景の絵を一生懸命描いたり、小道具を作ったりした子もいます。どの子も、みんなが学習発表会の主役だと強く思いました。全ての子どもたちに、大きな拍手を送りたいと思います。この感動や学習発表会で身につけたことを一つの力として、次のステージでさらに輝いてくれることを期待しています。

